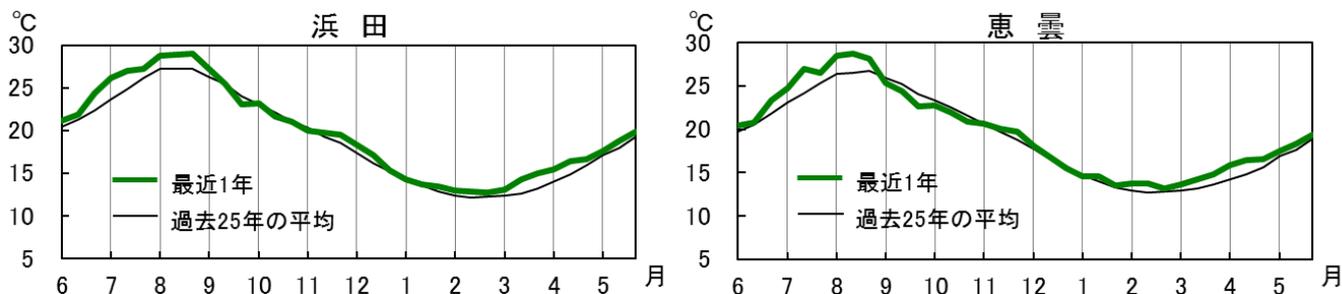




## 《5月の海況》



5月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	18.8°C	+0.6°C	やや高め	18.5°C	+0.6°C
中旬	やや高め			やや高め		
下旬	やや高め			平年並み		



## 《5月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の4.2倍で、マアジは平年の6割でした。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は64.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は4,170トンで平年の2.9倍、ウルメイワシは1,063トンで平年の1.9倍でした。一方、マアジは1,261トンで平年の4割でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は173.4kgで平年の約8割となりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は98.0kgと、平年の6割ほどの水揚げでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、マアジを主体に、1統1航海当りの漁獲量は10.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.5倍、ケンサキイカは平年の1.2倍、マアジは平年の2.8倍でした。その他、アマダイ類は平年の1.5倍、マダイは平年の1.3倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の6割、アカムツ、マトウダイおよびヒラメは平年の5割、ムシガレイは平年の1割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではニギス、ソウハチ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は238トンでした。1統1航海当りの漁獲量は906kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の2.4倍、ソウハチは平年の9割、ヒレグロは平年の2.5倍でした。その他、キダイは平年の2.0倍、アンコウ類は平年の1.4倍、マトウダイは平年の1.1倍、ムシガレイは平年の8割、スルメイカは平年の6割、アナゴ・ハモ類およびアカムツは平年の5割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は43.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.2倍、マアジは平年の3.0倍でした。石見地区ではマアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は25.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.9倍、ブリは平年の2.3倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は30.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の6割でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は24.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.5倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の8割でした。

【令和5年5月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類	7,194トン	52%	90%	64.2トン	57%	100%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	13.3トン	61%	90%	173.4kg	62%	83%
	西郷	スルメイカ	16.2トン	125%	97%	98kg	67%	67%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、マアジ	151トン	62%	63%	10.1トン	87%	83%
小型 底びき網	大田	ニギス、ソウハチ、ヒレグロ	238トン	98%	101%	906 kg	119%	123%
定置網 (大型)	出雲	ブリ・マアジ	519トン	147%	138%	43.2トン	147%	148%
	石見	マアジ・ブリ	100.8トン	160%	157%	25.2トン	160%	149%
	隠岐	ブリ	91.3トン	60%	65%	30.4トン	60%	65%
釣り・縄	出雲	ブリ	41.8トン	119%	85%	24.4kg	99%	86%
	石見	ケンサキイカ	23.0トン	91%	83%	17.5kg	88%	94%
	隠岐	カサゴ・メバル類	19.7トン	88%	69%	19.2kg	90%	70%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ